

杉並弦楽合奏団

第71回 定期演奏会

2024年6月2日(日)
午後2時開演 (1時30分開場)

セシオン杉並ホール
入場無料・全席自由

指揮 澤村 杏太郎

G.F.ヘンデル：
アルチーナ組曲

E.グリーグ：
2つの悲しき旋律 作品34
「傷ついた心」「過ぎし春」

2つのノルウェーの旋律 作品63
「民族様式で」「牛呼び・農民の踊り」

A.ドヴォルザーク：
弦楽のためのセレナーデ ホ長調 作品22

共催 杉並区教育委員会

お問い合わせ 杉並弦楽合奏団 杉森 tel 03-3398-6411

プログラムノート

指揮者に初めて澤村杏太朗先生をお迎えしての第71回定期演奏会、新たな気持ちで挑むプログラムの前半は「アルチーナ組曲」で始まります。ヘンデルのオペラ「アルチーナ」から後に器楽のみの序曲やバレエ音楽を抜粋したものが「組曲」ですが、選曲や曲順は一定ではありません。今回は第1・2幕からの7曲を、オリジナルな構成でお送りします。続いてはグリーグが自身の作品を弦楽合奏に編曲した2作を続けて演奏します。「2つの悲しき旋律」はノルウェーのヴィニエの詩による歌曲の編曲で、春を待ち春を惜しむ詩人の深く静かな悲しみに、穏やかな旋律が寄り添うようです。ピアノ曲から編曲された「2つのノルウェーの旋律」は、グリーグらしい抒情性とノルウェー民族音楽の味わいにみちています。

プログラム後半は、チャイコフスキー、エルガーとともに「三大弦楽セレナーデ」とも称されるドヴォルザークの「弦楽のためのセレナーデ」をお届けします。やがてチェコ国民楽派を代表する作曲家となるドヴォルザークが、生活が安定し作曲活動に専念し始めた33歳の頃、わずか11日間で書き上げたという、勢いのある傑作です。それぞれ特徴のある5つの楽章に魅力的な主題が次々と現れ、それが自由に楽章を越えて再帰するのも楽しみです。ドヴォルザークの大好きな鉄道のリズムもきっと見つかります。どうぞご期待ください。

セッション杉並

杉並区梅里 1-22-32

東京メトロ丸ノ内線

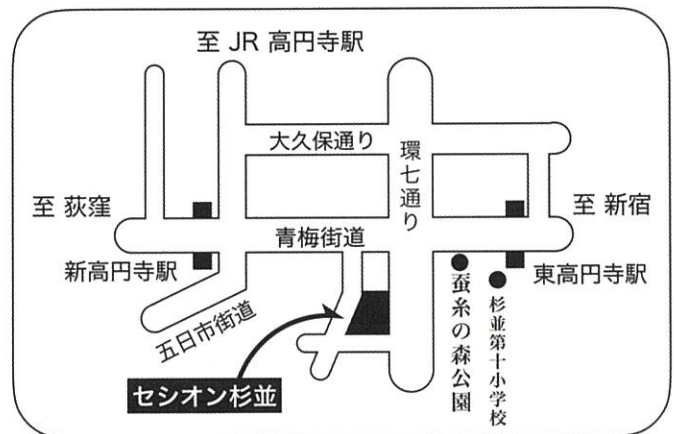
東高円寺駅下車 徒歩5分

新高円寺駅下車 徒歩7分

- 車でのご来場はご遠慮ください。
- 就学前のお子様のホール客席への入場はご遠慮ください。

ホール後方に親子席（防音室）があります。ご希望の方は当日受付にお申し出ください（先着6名様まで）。

- 中通路には車椅子席もあります。



杉並弦楽合奏団 活動紹介

「杉並弦楽合奏団」は杉並区を拠点にした弦楽器のみの合奏団です。年2回の定期演奏会のほか、児童館などへの出張演奏など、「杉弦」の愛称で地域に根差した活動をしています。

詳細はホームページ《<https://suginamigengaku.com>》をご覧ください。

[活動日時・場所] 毎週火曜日午後6時20分～9時 主に荻窪地域区民センター

[お問い合わせ] 稲葉 03-3399-5169

